

平成30年度第2回さぬき市総合計画審議会 会議要旨

- 1 日 時 平成30年10月19日（金）10時00分～12時30分
- 2 場 所 さぬき市役所4階第2委員会室
- 3 出席者 【委員】大塚委員 岡林委員 尾崎委員 田中委員 中澤委員
西尾委員 三井委員 吉田委員 吉田委員
【市】向井総務部長 総務部政策課 谷課長 大生課長補佐 多田副主幹
【アドバイザー】(株) ジャパンインターナショナル総合研究所
【傍聴】1名
- 4 会議次第 1 開会
2 会長挨拶
3 議題
(1) 市民ワークショップの実施結果について
(2) 前期基本計画点検・評価報告書について
(3) 中期基本計画骨子（案）について
4 その他
5 閉会
- 5 配布資料 資料1 前期基本計画点検・評価報告書
資料2 中期基本計画（体系図対比表）
資料3 中期基本計画構成（案）
資料4 市民ワークショップ実施報告書
- 6 会議内容

発言者	意見概要
事務局	(10:00) 皆さま、本日はご多忙にもかかわらず、ご出席いただきありがとうございます。ただいまから平成30年度第2回さぬき市総合計画審議会を開会いたします。早速ではございますが、会長からご挨拶いただき、引続き議事の進行をお願いします。
	<会長挨拶>
会長	それでは、議題（1）「市民ワークショップの実施結果について」事務局から説明をお願いします。
	<事務局説明>
会長	「ワークショップ」は初めて開催したのですか。
事務局	前期計画を作る際に、「ふるさと未来会議」など市民の方の意見を反映させる目的で、こういった形のものを行った実績はあります。

委員	若い方の意見が多いようですが、年齢層は幅広かったのでしょうか。
事務局	10代から80代の方まで、幅広く参加いただきました。
委員	私も参加しましたが、皆さん「時間が足りなかった」や「もっと言いたい意見があった」とおっしゃっていました。ワークショップを初めて経験された方が多く、司会者の説明が長いと、時間が足りなくなったのは残念でしたが、いい取り組みであったと思います。
事務局	初めてのやり方で、ある程度の説明が必要でした。
事務局	補足ですが、参加申し込み時、年齢を記入されなかった方もいますので、一緒に来られた方と同年代であると推計すると、20～30代の方が39%。10代の方を含めると半数近くいらっしゃいました。もちろん年配の方もいらっしゃいましたが、バランスとしては非常によかったです。目標であった若い方の意見をいただくこともできましたので、計画案になんらかの形で持ち込めたらと思います。
会長	他にありますか。 「時間が足りなかったのではないか」や「やり方に工夫が必要だ」という意見が出ましたが、中期以降も開催できるよう検討したほうがいいですね。
委員	賛成します。 若い方は、ものすごく意見を出してくれます。
委員	子育てのほうでもワークショップを行っており、ターゲットが女性だけというものなどありますが、このようにいろいろな年代を通してというものは初めて聞きますし、いろいろな方と話ができるのは、ありがたいと思います。
会長	若い委員さんから見て、不安なことなど意見が言える場だったと思いますが、どうでしたか。
委員	若い方は、同じ年代の方がいるほうが意見を言いやすいので、20～30代の割合が多かったのはよかったと思います。 同じ意見ですが、私も当日の帰りがけに「足りない」と言われました。時間の問題はあったと思います。
会長	基本計画に取り入れたいと思います。 将来的に「会を重ねることが better」であり、「若者の意見を聞く」ことが大事ですね。 議題（2）「前期基本計画点検・評価報告書について」事務局から説明をお願いします。
	<事務局説明>
会長	ご意見等お願いします。
委員	P7、「基本目標」の「評価点（平均）」は各課の自己評価ですか。

事務局	はい。
委員	各課個別の基本目標ごとの達成状況一覧表になってくると、「評価」は各課、「達成状況」はアンケートの結果ですか。例えばP10、「満足度」と「重要度」というのは。
事務局	これは、「市民アンケート」の結果です。
委員	P7、Ⅲ「健全な心身と思いやりを育むまち」であれば、「自己評価」は「74.6点」であるが、「満足度」を見ると「0.4」。その下のV「人と地球にやさしいまち」であれば「自己評価」は「66.0点」であるが、「満足度」は「1.7」で非常に突出している。問題は各課による自己点検による「自己評価」と市民の「満足度」との間に乖離がある。「自己評価」の高低と「満足度」の高低が必ずしも連動していない。逆になっている場合もあり、このあたりはどのように考えていけばよいのか、ご意見を伺いたい。
事務局	乖離がある部分については、原課も「自己満足」で終わってはいけないという意識はありますが、委員さんのおっしゃる通りです。
委員	V「人と地球にやさしいまち」であれば、「自己評価」が厳しいが、市民は非常に満足している。施策の内容にもより、なかなか難しいですね。
事務局	行政としては、市民の意見ということで、大事であると考えています。自己点検が甘いと言えばお叱りを受けるかもしれないが、逆の面もあります。
委員	「自己評価」が高いが「満足度」が低いというのは、市民側に周知ができていない可能性があるのではないのでしょうか。
事務局	その課題は確かにあります。
委員	ここで議論すべきは、マイナスの「C」や「D」がついているところを個別で見るのではなく、全体で見たときに、どう組み合わせで解決できるよう計画を立てていくのかということではないかと思います。例えば財政のほうで、実際に教育事業でどう配分するかなどです。もう一つ、P21以降に「目標指標」を立てていますが、これで成果が図れるかなと個人的に思える項目がいくつかあります。
事務局	目標指標は、代表的な取組で、これだけではありません。いろいろな取り組みの中でカバーしていく形になると思います。
会長	次の議題の「基本計画」をどうするかというときに、評価と「ワークショップ」の意見を参考にしますが、委員さんがおっしゃるように、誰でも「C」や「D」のような評価の低いものをなんとかしないといけないと考えます。ところが、「ワークショップ」のほうでは、魅力あるものをどうしたらよいのかという意見が多数ありました。考え方としては、「A」評価がついているものが、さぬき市の特徴なのだから、それをさらに伸ばし、どう「基本計画」に盛り込んでいくかであると思います。これを全部見ると、それぞれの分野から意見があると思うので、委員さんに感想を伺いたいと思います。 教育分野について、委員さんにお話を伺いたいのですが、P15Ⅳ「学ぶ意欲と

委員	<p>豊かな心を育むまち」について、「評価」が全て「B」というのはありえないのではないのでしょうか。何もしていないように取られても仕方がない。それぞれの目標に対する考え方が違うと思うし、担当課以外に教育委員会の意見も入っていると思うが、何か見直しをして順調にしていると思ってよいのでしょうか。端から見ると適当な部分もあるのではないかと考えてしまいます。</p> <p>そういった疑問点は出てくると思いますが、適当ではなく、極めて適切に行われていると思います。なぜ、教育評価が「B」になるかと言えば、アンケートの性質上、中央値に偏りやすいという一般的な傾向があります。また、教育というのは、実に数値化しにくい状況にあります。産業や農業関係であれば、数値目標を客観視しやすいですが、教育は学力についても非常に相対的な問題もあるし、道徳が云々となると人格に係ってくるので非常に難しいと思います。</p> <p>他にも不登校の問題等ありますが、果たして教育だけの問題であるのかどうか。家庭環境の状況などもあるので判断が難しいでしょう。考えていただきたいのは、保護者のアンケートです。P5で見ると、地域の空気や匂いは、市民が肌で感じていると思います。マイナスがありません。適切な評価がしにくい領域だが、保護者や市民の方々は、雰囲気として子供に接したり、噂を聞いたりしますよね。この「B」結果からいうと、不適切ではなく、適切にできている、いい評価だと私は考えています。</p>
会長	<p>次に災害についてですが、今年は台風がたくさんきて、避難勧告が携帯に入りましたが、さぬき市はどういった動きをしたのか。香川県は意外と外国人の訪問が多いが、他市に比べて外国人の就労はどうであるのか。全国的にその2つがクローズアップされ、検討されているが、さぬき市はどうされているのか。さぬき市は台風の影響がそれほどなかったが、徳島県や愛媛県は結構ありました。高齢者の避難対策問題や、外国人の国際交流の現状を伺いたい。</p>
事務局	<p>防災面では、今年は例年にも増して台風がきましたが、職員の中でも「配備体制」があり、災害の程度によって召集し、福祉部門では「避難所配備」を行っています。聞いた話では、いつもに増して非難する方は増えていたようで、高齢者に配慮した早めの避難の準備情報に努めました。避難勧告を暗いときに出しても危ない状況にあるので、台風がくる前日から避難準備を整え、特に高齢者には早めの避難周知をさせていただいています。海側であれば高潮被害、山手だと土砂災害があり、地域の方なら、どのあたりが危ないかご存知だと思うので、割と自主的に避難する方が増えてきたのではないかと考えています。</p>
会長	<p>外国人が増えてきていると思いますが、さぬき市では何か対策されていますか。</p>
事務局	<p>外国人就労者も増えてきていると思います。観光面の対策としては、多言語化に対応した宿泊施設など、対応についてはこれからということになります。</p>
委員	<p>最近災害が多く「このエリアの避難所はここです」と決めています。その避難所に何人が避難してくることを行政側は想定していますか。大きな災害が来たときみんなが避難するようになるが、本当に避難者が全員入るのか。今までは「みんなが避難することはない」という前提で、小学校や自治会館に決めていると思うが、みんなが避難するとなると収容人数の問題や備蓄の問題、季節によっては冷暖房などの問題、プライバシーの問題もあると思う。従来のは想定では、避難所が大混乱をきたし、大変なことになるのではないかと。言い過ぎかもしれませんが、行政が想定</p>

	<p>している避難者数の感覚の見直しをされるべきなのではないかと思います。</p> <p>もう一つ「ハザードマップ」が大事で、行政側がここは危険だと判断し、「何かあったときは早く逃げて下さいというエリア」に対し、ハザードマップに表示しただけで終わりなのか。行政としてどういう対応を次の手立てとして考えているのか。もう少し、踏み込む必要があるのではないかと思います。</p> <p>また、先程の「5段階評価」についてですが、P21のI「活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち」の「指標数24」に対して、「達成（見込み）が11」で、「未達成（見込み）が13」。民間では、目標を管理するときに、達成できたら「B」であり、難易度が高ければプラス1.2ということもあるが、基本的には「B」です。これが何十パーセント上回って達成できたら「A」であり、もっとよいと「S」になる。この資料を見ると、一応取組として行っていると「B」となっています。</p> <p>個別に「B」となっているも、I「活力にあふれ、いきいきと暮らせるまち」であれば、「24分の11」しか達成できておらず、50%を割っている。それなのに、評価点は66%である。できているかどうかを明確にする意味においては、P21以降の個別テーマに対する出来具合を重点的に見ないといけません。</p> <p>「主要施策の達成状況（77.2%）」の数字だけを見ると良くできていると思いますが、個別項目を全部足しこんでも、達成しているのはだいたい半分くらいです。</p> <p>少子高齢化や人口流出などいろいろな要因がある中で「なかなか大変なんです」と言い訳すると、「ももとの計画の数字は何だったのか」ということになります。</p> <p>もとの設定数値に対する議論・見直しはしないといけないし、もう少し切り口を変えて、目標に対する良し悪しをまとめられる必要があると思います。</p>
会長	<p>続いて議題（3）「中期基本計画骨子（案）について」事務局から説明をお願いします。</p>
	<p><事務局説明></p>
会長	<p>ご意見等お願いします。</p>
委員	<p>中期基本計画構成（案）についてですが、どこかに「前期計画」のフィードバックのようなものを入れてはどうでしょうか。</p>
事務局	<p>資料3は、構成（案）ということで、たたき台です。「基本構想」第2章の1に「PDCA」で行っていく二面的なところを掲げ、最終的にどういった掲載にするか検討が十分ではないのですが、先程ご指摘いただいた「評価報告書」を付ける形とし、「前期計画」については、そこで総括した形でまとめられたらと考えています。計画案そのものに付けるか、別冊とするか検討させていただきたいと思います。</p>
会長	<p>資料2、(37)の④「シティプロモーションの充実」ですが、わかりやすくいうとどのような内容ですか。</p>
アドバイザー	<p>「重点プロジェクト（案）」で「魅力発信」を設定されているのですが、総合戦略の方でもいかにさぬき市をPRし、「移住・定住者」を呼び込むかという取組が進められています。</p> <p>早くから取り組まれている自治体は、「このまちをどう発信していくか」「どうアプローチしていくか」「どのような魅力を発信していくか」ということで、「シティプロモーション戦略」や「観光戦略」といった、「魅力発信」に向けた戦略を立て</p>

	<p>られて、体制的に取り組まれています。その一環で、先程の「ワークショップ」を策定過程から発信することによって、「定住」だけでなく、「まちづくりにもかかわってみたいという関係人口」を増やしていこうとしている自治体もあります。まちのいいところを発信するだけでなく、「こういうまちづくりをしていきたい」という共感呼んでいくようなプロモーションをされているところもあります。以前はよく「ゆるキャラ」を作られていたのですが、そこから一歩進んだ形で取り組まれているところもあります。</p> <p>今回さぬき市さんも、「ワークショップ」で「情報発信」があがっていただけで、施策に反映しながら、重点戦略にもおきながら力を入れて取り組んでいかれるという内容になっています。</p>
会長	<p>先程私が言ったように、「中期計画」以降「A」評価のものをさぬき市の魅力として考え、「移住・定住者」を呼び込むと考えていいですか。</p>
アドバイザー	<p>行政は評価が難しい組織ですので、広く取組を進めていながら、そこから特化したような、会長がおっしゃるように、いいところを更に伸ばしていけば、より魅力的なまちになっていくと思います。もちろんこれまでの取組全て含まれていますので、しっかり見直していながら、更に重点的に取り組んでいくところを明確にしていく計画となっています。</p>
委員	<p>資料2(35)「行政改革の推進」とあり、個別に「戦略的な行財政運営の実践」「組織体制の整備」「適正配置と質の向上」「電算システムの効率化」などありますが、(34)に「歳入」の文字があるということは、ぱっと頭に浮かぶのは支出をどうみるかであると思います。職員の数を減らすという意味ではなく、もう少し踏み込んで、市民サービスに向けて、充実を図るというものでいいかもしれない。あるいは、(38)「地域コミュニティの活性化」の「コミュニティ意識の高揚と地域内団体の活動支援」「まちづくり活動拠点の整備」「ボランティア活動への支援」などに振り向け、いち早く、何を行政でやるべきなのか、何をコミュニティで賄ってもらおうかだと思います。</p> <p>財政的な問題もあるし、コミュニティの活性化のテーマも含め、「行政改革」は実務レベルの効率という問題もあります。結果的に、数パーセント減の職員数でやれるというものであれば、その中で財源を更にどこに振り分けるかということになるかもしれないし、中身の充実という問題もあります。</p> <p>もう少し「行政改革の推進」というところの個別の5項目、あるいは「コミュニティの活性化」、「市民主体の行政の推進」を深掘りしてほしいと思います。</p> <p>「中期計画」の中で「市民ベースでやっていただくことはこういうことです」とし、1、2年目からすぐ成り立たないなら、「市民参加型」で、自治会でどういうものが受け持ちできるのか議論してもらい、3、4年目にはそういった意向をかけたいく。それに伴って支出がどう変われば今のテーマに対して重点的に財源を入れることができ、中身も充実するのか。イメージとしてはそんな感じです。</p>
会長	<p>「重点プロジェクト」に「人口減少対策」と「魅力発信」の2つが出ていますが、いいものを伸ばすことを全体の指標とするという感覚で考えてはどうでしょうか。資料1、P26「定住促進対策」で、「社会動態の人口増減数」の「目標値」が、H30年度は「プラスマイナス0」ですが、「実績値」は200人流出している。こういう指標は様々な因果関係があると思いますが、さぬき市は、「住みやすい環境」、「産業の振興」、「子どもの教育によい」等を踏まえて、目標を「0」にする。この「人口増減」が全ての指標を表していると思います。いろいろなお膳立てがあっ</p>

	<p>てもいいが、表を見ると、H29年度「マイナス296」からH30年度は「マイナス200」に戻っていて、なにか策があったのかと思います。「シティプロモーション」と同じだが、ここがよかったからというもの、ピックアップできるのではと思います。全国の地方の中でも人口が増えているところが少しずつ出始めているので、そういうところを参考にしたらいいと思います。</p> <p>また、「行政改革」や「コミュニティバス」など、重点的に取り組んでいいと思います。H27年度から、コミュニティバスの「年間利用者数」の「目標値」が毎年度10万人ですが、「実績値」は8万人台です。それをどうするかということと、前回話になった市の施設の料金体系等を踏まえ集約すると「人口減少対策」に全部引っかかってくると私は思います。皆さんには、「重点プロジェクト」が今の2つでよろしいかどうか。また、これを付加えてはという案がありましたら、ご意見お願いします。</p> <p>「人口減少対策」とは転出を止めることで、そのための「魅力発信」であり、同じことを2つ言っているように思えるので、まとめたほうがよいのではないのでしょうか。それとは別に「行政の質の向上」や「行政の健全化」という名目で、「市民協働」など入れるべきなのではないかと思います。</p> <p>職場でもよく話しているのですが「スマホにしても、アプリにどんなものがある、どういうことができるのか。若い社員たちに、君らの方がよくわかるだろう」と。市報は紙媒体で配るが、何パーセントの人が見ているのか。「電子媒体でもいいですよ」という人もいる。ホームページにも載っているし、CATVでも必要な事項は流す。市報の中に記載されている事項1つ取ってみても、本当に必要なのか。主たる目的は、行政側としてはお知らせベースとして入れていかなければならないし、トピックスは無理にそこに入れなくても、「ホームページで見てください」で済むかもしれない。その辺は強制的にやってもいいのではと思うが、なかなかそうもいかないと思います。時代は変わってきているので、プロジェクトの1つとして入れるのが「行政改革」だと思います。今からの4年間というイメージからすると「さぬき市は旧態依然として統制しているまちです。」というののどうかと私は思います。</p> <p>今から4年間で「市民と行政の協働」や、「市政側のシステム変更」、「ルール変更」であるとかといったものに、見直しをかけていく。余剰財源をさらに市民サービスに振り向ける。限られた予算の中で、何とかの充実、何とかの充実と並べても、できるのかという感覚を受けます。どこかで「どう予算を振り向けるか」しないと、全部には使えない。政策課がコンダクターになるわけですから、各部局と調整を図りながら、上がってきた予算をただ削るのではなく、生み出すことが必要です。余剰となったものを教育委員会やさぬき市民病院に振り向けるといったコントロールがこの「PDCA」です。「PDCA」は「Plan」の中で「PDCA」を回さないと、想定外という話になる。それでも上手くいかないことにおける「Check」は必要であるが、「Plan」のときにどれだけ想定して計画を作っているかであると思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>前にも申し上げたが、さぬき市には徳島文理大学があります。「大学と産学官の連携」や「大学と自治体の連携」など、いろいろ行っているのですから、もう少し市が前面に出はどうかと思います。例えば「コミュニティバス」の問題もあるので、そうことを協議させてもらってもいいので、さぬき市には大学が1つあるということを何か想定してもいい時期にきていると思うのですが、どうでしょうか。</p>

委員	<p>「高校」、「大学」はわからないのですが、少なくとも「義務教育」については、与えられた枠組みがきっちりしていて、文科省から出ている学習指導要領があり、どこにいても同じ教育を受けられるという良さがあるかわり、特色ある教育がなかなかできにくいというデメリットもあります。</p> <p>「義務教育」は、基本保守的である必要があり、例えば、新しい改革はいいのですが、大改革をした時に、「PDCA」の「Plan」の中で「Check」と「Do」を見越したものとおっしゃっていたが、教育は万が一失敗した時のリスクは誰が取るのかとなった時、被害を受けるのは子供である。その被害は1年、2年では済まない。5年、10年後に出てきて、20年、30年、一世代、二世世代影響があります。そういう意味でどうしても保守的になり、特色が出しにくい。だけど、大きな枠組みはできにくい、小さな改革は各小中学校で、総合学習の中などで行っています。今、「英語」が大改革の波の中にあり、学習指導要領が変わり、小学3年生から完全「英語」として入っています。その前は英語活動だったのですが、さぬき市は小学1年生から入っていますし、早いところは幼稚園でも入っています。それと、ALTで外国人を雇用し、小中学校に完全配置されています。</p> <p>問題は高校です。以前新聞に、転出者の傾向が男女共に20代が突出し、30代の子育て世代が減少しているのが問題だと出ていました。また、今日の新聞に、東讃の県立高校再編の記事が載っていました。東かがわ市に三高、さぬき市に4校あります。「英語」を小中学校で習い、高校にどうつなぐのか。義務教育は教育委員会の管轄であり、高校は高校教育課です。高校の校長の権限は、義務教育の校長よりはるかに強く人事権を持っている。高校の校長のカリキュラム編成の中でどのようにしていくのか、また、どう大学へつなげるのか。</p> <p>東かがわ市には手袋産業があり、海外へ売り込むため「英語」は必要である。さぬき市に「英語」を必要としている企業がどれだけあるのか。「英語」は既に始まっているが、大きな枠組みは作りにくい。また、「高校」がどれだけそれにのってくるのか、基盤としての普通科高校はあるのかどうか。あるいは、出口としての就職で、さぬき市内で働く卒業生がどれだけ「英語」を必要とされるかだと思います。</p>
会長	<p>つながりが見えてきましたね。大学に英文科があるのですから、サポートができると思います。</p>
委員	<p>指導者、あるいは支援員として文理大の学生あるいは先生方に小中学生をみてもらうなどが考えられます。今はALTが入っていますが、なぜかという「英語」の勉強プラス、生の異文化交流・異文化理解を目的としています。</p>
会長	<p>事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>「市民との協働のあり方」や「今後の行政のあり方」、「大学の推進」など、各分野で連携を行っていたり、今の計画に入っているものもあるのですが、意見のあった部分を盛り込んで考えてみたいと思います。本日お渡しした資料（対比表など）は庁内の各部局にまだ送っていません。今日いただいたご意見を踏まえて、考えたいと思っています。</p>
会長	<p>以上で、第2回さぬき市総合計画審議会を閉会します。(12:30)</p>